

授業科目	インターンシップ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN21401J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	<p>当科目は、企業、官公庁、諸機関など実際の職場で就業体験する教育プログラムであるインターンシップを通じて、当学科での学びに自分なりの方向性を付与するとともに、自らの職業観、勤労観を構築することを目的とする。</p> <p>※受講者が希望する企業で就業体験できる機会を保障する授業ではない。</p> <p>※就職そのものや自らの適正について考えを深める授業である。</p> <p>授業開催日の詳細は第1回目授業で伝えるが、前半の3ヶ月を就業体験に向けた社会人としての基礎知識、基本マナー等の学修に充てる。8月上旬から9月上旬に、授業で紹介した企業へ、各自3日から5日間程度のインターンシップに参加する。</p> <p>終了後、研修事後報告書を提出する。座学の授業は6回である。</p> <p>①4月18日 ②5月2日 ③5月16日 ④6月6日 ⑤6月20日 ⑥7月11日</p> <p>なお、本科目は実務家として経験豊かな外部講師(一般社団法人学生就職支援協会職員)による講義を中心に指導が行われる。</p> <p>紹介できる企業等に限りがあるため受講生数は25名程度とする。上限を超える受講希望者が出た場合には、前年度までのGPAや、学内外行事への参加・貢献度を考慮して選考し、受講科目変更可能期間内に、大学Gmailで連絡する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人基礎力を向上させつつインターンシップへの参加目的を明確化し、実際の就業に向けた基礎的な知識やスキルを獲得し、発揮することができる。 2. インターンシップを通じて、働くことの意味・将来やりたいことについて考えることができる。 3. 本学での学びと自己の職業観を深化させ、適性を生かしたキャリアデザインについて考えることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	40	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)			15				15	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10			10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						10	10	
関心・意欲 (DP3-2)				10			10	
態度(DP4-1)			15				15	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)			10				10	
技能・表現 (DP5-2)				20			20	
技能・表現 (DP5-3)								

具体的な達成の目安				
理想的レベル		標準的なレベル		
<p>自らの進路について具体的なイメージ・目標を持ち、目標達成に必要な能力・価値観の醸成を行い、実現に向けて自発的に行動できるようになっている。</p> <p>自己の職業観を整理・確認し、インターンシップ期間中に現代社会の勤労観とのすり合わせを行い、自己の働き方を考えられるようになっている。</p> <p>インターンシップ体験から自らの課題を認識すると共に、さらなる成長につなぐことができる。</p> <p>社会人になるうえで必要な基礎能力の開発ができています。</p>		<p>自らの進路について積極的に考えると共に、社会人として求められる基礎的な能力・技能の開発に取り組むことができる。</p> <p>自己の職業観を整理・確認し、インターンシップ期間中に現代社会の勤労観とのすり合わせを行い、自己の働き方を考えられるようになっている。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>インターンシップについて(外部講師・大谷)</p> <p>紹介できる企業名紹介(過去の実績)、各企業に派遣できる数、受講者多数の場合の選考基準(GPA)</p> <p>研修期間は8月13日～9月17日の間。</p> <p>9月5日～9日は再試験期間中(企業と派遣期間調整の際に留意)</p> <p>シラバス内容の確認</p> <p>採用担当者の目線で考える採用活動とは？</p>	講義、グループワーク	復習:授業内容整理	90
2	自己分析と自己紹介 (外部講師・大谷)	講義,グループワーク、発表	予習:自己紹介文章作成 復習:授業内容整理、自己分析ワーク(宿題)	90
3	履歴書の書き方 (外部講師・大谷) 時事問題への取り組み方	講義、実習、グループワーク	予習:社会問題について発表準備 復習:履歴書記述	90
4	職場における社会人マナー (外部講師・大谷) ことばづかいと敬語、あいさつ、身だしなみ、マナー、振る舞いについて	講義、発表、グループワーク	復習:授業内容整理	90
5	インターンシップ当日の仕事への取り組み方 (外部講師・大谷) 当日の仕事への取り組み方、報連相、挨拶の仕方、時間管理など	講義、グループワーク	予習:実習先研究 復習:授業内容整理	90
6	インターンシップ後の取り組み(外部講師・大谷) 研修先との打ち合わせ、体験中の研修日誌作成、終了後のお礼状、実習報告書について	講義、発表	予習:実習先研究まとめと発表準備 復習:授業内容整理と実習準備	90
7	インターンシップ(研修先企業にて) 事前挨拶文送付、研修、事後報告書作成など 授業アンケート	実習		
8				
9				
10				
11				

12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	実際の就業体験時には、しばしば社会常識を問われることが生じるため、毎日、新聞を読み、社会の動きについて理解を深めるようにしてほしい。			
テキスト	指定しない。適宜プリントを配付。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業で紹介する。			

<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>座学授業の予定日は以下のとおりです：</p> <p>①4月11日 ②5月2日 ③5月16日 ④6月6日 ⑤6月20日 ⑥7月11日</p> <p>将来、仕事を探す上で必要な「自分の興味があること」「自分のやりたいこと」「自分の強み」を考えられる非常に良い機会です。自分の将来のために、積極的に取り組んでください。授業回数に限られることもあり、就職課や担当教員から積極的に情報を得、自主的に計画を進め、担当教員との個別打ち合わせを進めることも必要になります。</p> <p>実際の就業体験時には、しばしば社会常識を問われることが生じるため、新聞を毎日読み、社会の動向について理解を深めるようにしてほしいです。また、殆どのインターンシップ受入事業所では髪のカラーリングや身につけるアクセサリーなどについて一定の基準を設けているため、早めに就職活動に適した髪色に整えておきましょう。</p>
<p>達成度評価に関するコメント</p>	<p>「レポート」は、毎回の授業の振り返り(40%)</p> <p>「レポート以外の提出物」は、練習用履歴書の提出(10%)と研修事後報告書の提出(10%)</p> <p>「発表」は、授業で提示する課題について、当日の口頭発表と受講態度を併せて評価する。(40%)</p> <p>遅刻・欠席については、理由の如何にかかわらず事前に連絡すること。正当な理由のない、または無断での遅刻・欠席については、総合評価段階において最大15%の範囲で減点する。</p> <p>座学6回の内、3回正当な理由なく欠席した場合はその時点で不合格となり、インターンシップ研修にも参加できない。</p>